

# 心理療法

専門教育科目 / 4 単位 / TS 授業

担当教員 前田 直樹(テキスト部分担当) ※スクーリング部分については、複数の教員により行う。

■使用テキスト 杉江征・青木佐奈枝(編)『臨床心理学』サイエンス社 2015

◆参考テキスト 坂野雄二(編)『臨床心理学キーワード』有斐閣双書  
下山晴彦(編)『やわらかアカデミズム<わかる>シリーズ よくわかる 臨床心理学 改訂新版』ミネルヴァ書房

## 講義概要・一般目標

心理療法アプローチは、さまざまなモデルや方法論がある。本講義では心理療法に関する主要な学派の理論的な枠組みを学習する。またそれらの方法論が実際の臨床の場でどのように用いられ、治療に効果を挙げているかを学び、心理療法に関しての理解を深める。

(D3) 地域社会や支援対象者に対して、社会福祉の知識、技術を駆使し、課題の発見から解決を導き出していくことができる。

(D7) 福祉の進歩と改善に対応するため、社会や福祉現場の動向を把握し、生涯にわたり自己研鑽を続けることができる。

## 到達目標

- 1) 心理療法について理解し、その役割や活躍の場などを説明できる。
- 2) 臨床心理アセスメントについて理解し、その方法としての面接・行動観察の方法を説明できる。
- 3) 様々な心理療法に共通する心理療法の基本について理解し、説明できる。
- 4) それぞれの心理療法の基本的な考え方を理解し、その概要(心理療法名、研究者名、基本的な考え方、治療目標、キーワードなど)を説明できる。

## 評価方法

T 部分：科目単位認定試験により評価。

S 部分：出席状況(遅刻・欠席は不可)、受講態度、科目単位認定試験(スクーリング最終日に実施)。

## 学習指導

### 第1章 臨床心理学とは (D3)(D7)

#### この章のポイント

ここでは、臨床心理学の歴史、その研究法・方法論などから「臨床心理学」を概観する。そして、「臨床」という言葉の意味を考えたい。

### 第2章 臨床心理アセスメント1 (D3)(D7)

#### この章のポイント

次章とともに、対象の良い面も悪い面も含めてできるだけ正確に理解するためのアセスメントについての基本を学ぶ。アセスメントには、面接法、観察法、検査法があるが、ここでは、面接法と観察法の技法について学ぶ。

### 第3章 臨床心理アセスメント2—心理検査法 (D3)(D7)

#### この章のポイント

前章に引き続き、アセスメントの1つとして、心理検査法を取り上げる。主な心理検査が、何を測定するのか、どう活用されるのかについて学ぶ。

## 第4章 精神分析・力動論 (D3)(D7)

### この章のポイント

フロイトの精神分析に始まり、その理論や方法を修正、発展させたものは数多い。そこで、まず、フロイトの精神分析について学び、さらに、ユング、エリクソン、クライン、マラーなどの基本的な考えについて学ぶ。

## 第5章 行動論・認知論 (D3)(D7)

### この章のポイント

行動療法では、観察できる行動自体を取り上げ、実証的に確認された学習理論や心理学的研究の結果を基にした技法を用いる。それら多数ある技法のうち、代表的なものを学ぶ。また、最近注目されている認知行動療法にも触れる。

## 第6章 人間性心理療法・来談者中心療法 (D3)(D7)

### この章のポイント

人間性心理療法では、人間は成長する力を持ち、自ら行動を選択し、自己決定できる存在であると考えている。ここでは、ロジャースのクライエント中心療法、ジェンドリンのフォーカシング指向療法などを取りあげ、その理論と技法について学ぶ。

## 第7章 催眠とそこから生まれた療法 (D3)(D7)

### この章のポイント

近代の心理療法の歴史は催眠にさかのぼることができ、フロイトもその影響を強く受けている。ここでは、催眠について学ぶ。また、催眠から発展した自律訓練法やイメージ療法などについても学ぶ。

## 第8章 多様な心理療法—対人関係をキーワードとして (D3)(D7)

### この章のポイント

適応の問題には多くの場合、対人関係が関与しているため、それを中核に据えた心理療法がある。ここでは、家族療法、交流分析、対人関係療法などについて学ぶ。

## 第9章 教育・子育て領域における心理支援 (D3)(D7)

### この章のポイント

教育や子育て支援の領域において心理的支援のニーズが高まっている。ここでは、学校教育、学生相談、子育て支援を取り上げ、現状と問題解決の視点を学ぶ。

## 第10章 医療領域における心理支援 (D3)(D7)

### この章のポイント

心理の専門職の多くが医療関係者である。また、最近の医療現場ではチーム医療が求められている。ここでは、医療現場における心理職の役割や活動を学ぶ。

## 第11章 産業・司法領域における心理支援 (D3)(D7)

### この章のポイント

最近、職場のメンタルヘルスが注目されており、心理的支援のニーズが高まっている。また、司法領域においても少年事件をはじめ、被害者や加害者の心理的支援のニーズが急増している。ここでは、産業領域と司法領域の心理支援の現状などを学ぶ。

## 第12章 臨床心理領域の知識と活用 (D3)(D7)

### この章のポイント

これまで見てきたように、最近の心理的支援のニーズは多種多様に広がっている。ここでは、心理的支援を行う者として踏まえておくべき職業倫理と役割上知っておくべき法律などの知識を学ぶ。